

本事例集の調査先（案）

再開発整備が完了した国立大学附属病院を中心に、下記の事項を勘案して、調査先（案）を作成した。

大学病院名		東北大学病院	名古屋大学 医学部附属病院	新潟大学 医歯学総合病院	信州大学 医学部附属病院	愛媛大学 医学部附属病院	佐賀大学 医学部附属病院	宮崎大学 医学部附属病院	
再開発期間		着手:昭和61年度 完了:平成23年度	着手:平成5年度 完了:平成26年度	着手:平成9年度 完了:平成26年度	着手:平成3年度 完了:平成21年度	着手:平成10年度 完了:平成16年度	着手:平成23年度 完了:平成29年度	着手:平成18年度 完了:平成24年度	
所在地（都市の規模）		政令指定都市	政令指定都市	政令指定都市	その他	その他	その他	その他	
病床数（床）		1,262	1,035	825	707	626	604	632	
整備手法		増築+改修	全面改築	増築+改修	全面改築	増築+改修	増築+改修	増築+改修	
病棟	病床稼働率 （%）	目標	-	整備前→85.0%	87.0%→92.0%	-	85.0%→90.0%	-	89.4%→89.2%
		整備後	84.6	85.0	91.0	89.3	91.0	-	89.2
		整備後 -整備前	1.4	4.1	4.8	3.5	6.0	-	△ 0.2
	平均在院日数 （日）	目標	-	整備前→14.2日	-	29.6日→13.5日	-	-	24.4日→17.2日
		整備後	15.7	14.2	19.6	13.5	23.2	-	17.2
		整備後 -整備前	△ 24.8	△ 23.4	△ 10.5	△ 16.1	△ 7.4	-	△ 7.2
外来診療	外来患者数 （人/年）	目標	-	整備前→ 2,418.5人/日	-	350,137人→ 373,669人	213,000人→ 260,000人	-	172,654人→ 246,565人
		整備後	731,998	590,109	514,681	373,669	266,325	-	246,565
		整備後 -整備前	317,948	142,125	4,213	23,532	54,129	-	73,911
中央診療	手術件数 （件/年）	目標	-	整備前→ 8,241件	5,000件→ 6,000件	4,456件→ 7,636件	3,000件→ 3,800件	-	3,898件→ 6,958件
		整備後	9,441	8,241	6,729	7,636	3,986	-	6,958
		整備後 -整備前	4,337	3,730	1,048	3,180	921	-	3,060
満足度調査		有	有	有	有	有	-	有	
第三者評価が全てAまたは4以上		-	-	-	○	○	-	○	
災害拠点	基幹	-	-	●	-	-	●	●	
	地域	●	●	-	●	●	-	-	
救命救急	高度	●	-	●	●	-	-	-	
	病床数（床）	20	-	16	20	-	-	-	
	救命	-	-	-	-	-	●	-	
周産期	病床数（床）	-	-	-	-	-	30	-	
	総合	-	-	●	-	-	-	●	
	病床数（床）	-	-	15	-	-	-	12	
がん	地域	-	-	-	●	●	-	-	
	都道府県	●	-	-	●	-	-	●	
エイズ	ブロック拠点	-	-	●	-	-	-	-	
	拠点	●	●	-	●	●	●	●	
被ばく医療		●	-	-	-	●	-	-	
選定ポイント		・大規模大学において、増築・改修で整備している ・平均在院日数を大幅に削減している ・機能強化を行っている	・平均在院日数を大幅に削減している ・機能強化を行っている ・整備後のスタッフ等の意見を聞き、次期再開発に向けて改善策を検討している	・中規模大学において、増築・改修整備を行っている ・整備後の病床稼働率が高い ・整備中に高度救命救急センター及び総合周産期母子センターの指定を受け、計画変更により対応した	・整備後の病床稼働率が高い ・整備後の平均在院日数を低く抑えた ・第三者評価が高い	・整備後の病床稼働率が高い ・第三者評価が高い ・工事中に医療スタッフと工事関係者と良好な関係を構築した	・病床規模に見合った整備手法を取っている ・病院経営責任者のリーダーシップのもと、マネジメントを行っている	・第三者評価が高い ・施設マネジメントにより外来面積をコンパクトに設計	